

学校の教育目標：「自他を大切にし、共に伸びる児童の育成 ～元気・笑顔・成長～」

相良村立相良南小学校だより 校訓「やさしく かしく たくましく」



元気・笑顔・成長！南小

Ver 3.0

第7号 令和7年6月13日発行 発行者 校長 田口広治

児童数 167
PTA数 124

心肺蘇生法教室 命を守ります！



相良南小HP↑

■6月5日（木）、5・6年対象に心肺蘇生法教室を実施しました。講師は、中央消防署中分署及び相良村女性消防隊の皆さんです。

まずは、女性消防隊の方々が、倒れている人を見つけ、心肺蘇生を行ったり、消防署に連絡したりする方法の手本を見せてくださいました。

その後、5年生と6年生に分かれて、心臓マッサージの仕方やAEDの使い方などを学んでいきます。5年生は初めての学習ですので、実際にやってみると、「とても疲れる」と心臓マッサージを続けるのがとても大変だったようです。また思った以上に力が必要だったり、速さが難しかったりすることが分かったようです。6年生は、昨年度もやっているため、上手にできていました。

また、119番の通報の仕方も学ぶことができました。

今後、救急救命が必要な場面にあうことがないとも限りません。もしもの時に命を助ける行動ができるようにするための学習です。非常に大切な学びの機会となりました。



1年いもの苗植え！

■6月6日（金）、1年生がJA青壮年部の皆様のご協力のもと、いもの苗植えを行いました。棒を使って苗を10cmほど押し込んで植えていきます。最初はうまくできない子供もいますが、だんだん慣れて、上手に植えていきました。

今後、お世話をしっかりやっていきます。
秋の収穫が楽しみです。



5年種粃まき！

■5年生では、毎年、JA青壮年部の皆様のご協力のもと、米作り体験を行っています。

6月6日（金）には、スタートとして、種粃まきを行いました。専用のケースに土をきれいにし入れ、種粃をまいていきます。その上からまた土をきれいにかぶせていきます。

田植えは、6月27日の予定です。



4年高齢者体験教室 誰もが幸せに！

■6月11日（水）に、4年生が「高齢者体験」を行いました。村の福祉課、社会福祉協議会、サポーターの方々のご協力のもと、実施することができました。

「車椅子体験」「前屈みの体験」「聴覚体験」「視覚体験」の4つを、グループ毎に交代しながら実施します。「前屈みの体験」は、おもりやサポーターを付けて、体が前屈みになったり歩きにくくなったりする体験をします。「聴覚体験」は、ヘッドホンをつけて聞こえにくさを体験します。「視覚体験」では、見えにくくしたゴーグルを付けて、視力低下や視野の狭さを体験します。

それぞれの体験で、子供たちは笑顔を見せながらも真剣に取り組む様子が見られました。

■相良村は高齢者の割合が50%ほどです。また、障害を抱えていらっしゃる方もいます。誰もが暮らしやすい村にしていくためには、困っている方への理解が必要です。また、サポートの仕方の学習も必要です。4年生では、誰もが幸せに暮らせる相良村にしていくための学習を進めていきます。

今回は体験での学習でしたが、次回は講話を中心にした学習、また2学期には交流なども行っていきます。 学びが深まっていくように期待しているところです。



■学校では、各学年で様々な体験活動を行っています。実際にやってみる中で、命を大切にする心、他の人を大切にする心、自然を大切にする心などを育てていきたいと考えています。

また、学校外の方にお世話になる機会となります。感謝の心を育むことにもつながります。さらに、体験をとおして、ものの見方や考え方がより深く、広くなります。

今後も、「体験をとおして学ぶ」取組を進めていきたいと考えています。